

矢部清流学園
学校だより 10号



善遊善学

学校教育目標 ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 自ら課題に向き合い、自分の思いや考えをしっかりと考える子どもの育成

令和5年11月22日 文責 古川 志乃

矢部まつり「浮立」公開

11月18日(土)・19日(日)、矢部まつりが開催され、矢部の伝統継承活動「浮立」を公開しました。子ども達は、現浮立保存会会長の栗原久助さんを始め、浮立保存会の皆様にご指導いただき、練習を重ね、たくさんの観客の前で堂々と披露することができました。「浮立」公開に向けて、子ども達が掲げた目標「**今まで受け継がれた思いを引き継ぎ、矢部村を元気にしよう!**」を意識して、取り組んできましたが、一人一人が自分の役割、責任を果たし、地域に元気を与えることができたと確信しています。

これからも、仲間とともに頑張っ、その絆を深め、益々地域に活力を与えていってくれることを期待します。



この矢部まつりにおいて、5・6年生は、自分たちが育てた原木しいたけを販売しました。セールスキャッチコピー「矢部村のすばらしさを知ってほしいたけ」を掲げて、笑顔いっぱい、元気いっぱいに販売した子ども達。準備したしいたけは、なんと40分間で完売しました!! 購入された方々の食卓で、矢部のすばらしさを知っていただけたことでしょう。栽培から販売まで、親身になってご指導いただいた中司勝万さん、高山和久さん、本当にありがとうございました。

「キャリア教育」 帝京大学福岡キャンパス体験入学 善学科 (5～9年) 11月7日(火)

キャリア教育事業の一環として、大牟田市にある帝京大学福岡キャンパスを訪問しました。峯岸教授の講義を受け、「生き方」について考えることができました。

【峯岸教授の講義内容から】

- 今日一日の学校生活を大切に生きる。(わからないことは、人に聞く)
- 先はどうなるかわからない。だからこそ、何でもできる人間になる。専門的技術を身に付ける前に、基礎的・基本的な力(小中学校で学習すること)をつける。
- 明日何があるかわからない。だからこそ、今を頑張る。幸せは自分が決める。
- 他人と比べるのではなく、昨日の自分よりも今日の自分がどうかを比べる。
- 目の前にあるチャンスをいかにつかむか。責任がとれる大人になる → 責任がとれるようになってこそ自由が獲得できる。責任転嫁、自由からの逃走は楽だが。
- 「目的」と「目標」を間違わない。きちんと設定することが大切だが、目的を間違っっては何もならない。

【子どもの感想から】(一人一人の感想から一部抜粋)

- ・大学生のみなさんが、自分がなりたい職業に向けて一生懸命頑張っ勉強していて、すごいなと思いました。大学の先生の話聞いて、自分が失敗した時、他人のせいにはいけない、全て自分の責任であるってわかって、自分も気を付けようと思いました。(5年 K.Mさん)
- ・(教授の話から)100点という目標があり、もしカンニングをして、目標を達成しても、目的は達成できないということがわかりました。医療器械の名前は難しかったけど、どんな役割をするかを知ることができました。救命救急士の訓練がかっこよかったです。(6年 K.Kさん)
- ・(授業見学でパッと話をふられたにもかかわらず)大学生の人たちが、医療器械や授業内容の説明をわかりやすく説明してくれて、すごいなと思いました。心臓の模型と講義での言葉「人と比べてはいけない」が心に残りました。(7年 K.Sさん)
- ・「今までの勉強(小中学校で学ぶこと)は全てムダじゃない」「自分の幸せは自分が決める」ということが心に残りました。大学ですが、実際の医療器具がたくさんあってすごかったです。(8年 N.Yさん)
- ・自分たちで行動して授業を行ったり、実習に取り組んだりされていてすごいなと思いました。救命救急の授業の時も、大学生の方だけでチームを組んで臨機応変に救命救急の対応をしてありました。(一人一人が国家試験に向けて勉強している姿を見て)大学ではより専門的なことを深く学ぶことは知っていたけれど自分が思っていたよりも勉強をされていて驚きました。(9年 U.Kさん)





1・2年生 生活科

大牟田動物園・緑地公園訪問 11月1日(水)
おおそま自然塾「あきをみつけよう」 11月15日(水)

1・2年生は、11月1日(水)、羽犬塚駅から大牟田駅までのJR乗車を体験しながら、大牟田動物園、緑地公園を訪問しました。

また、11月15日(水)には、「おおそま自然塾」の方々から、木の仲間や種類を聞いたり、紅葉するひみつを知ったりしました。また、拾ってきた落ち葉や木の実を使って、早速、画用紙に張り、それぞれに描きたいものの表現していました。



「清流会」を見直しています!

開校して4年目を迎えますが、児童生徒の自治活動「清流会」の運営に課題が出ています。そこで、本年度は「清流会」を立ち上げず、組織、活動内容を見直すことといたしました。「楽しい学校にしたい!」と、清流会役員に立ち上がってくれたN. Mさん(8年)、K. Sさん(7年)が「清流会」見直し検討委員として、夏休みから話し合い、改革案を提案しています。実際には、来年度に施行することとなりますが、後期(10月)より専門委員会の活動を試行しています。

2人が提唱した「目指す学校像」を達成するために、4つの委員会が、それぞれに目標や具体的活動内容を話し合い、実践しています。自治活動とは、児童生徒が自分たちの課題に自分たちで気づき、問題意識をもち、所属する集団において、民主的な手続きによって決めたことを行動する活動です。よりよい学校にしたいという子ども達の思いが一つ一つ形になっていくよう、私たち職員も支援していきたいと思えます。

- 【目指す学校「楽しい学校」とは・・・】 ※見直し検討委員の二人が提唱
- ・全員が笑顔で過ごせる
 - ・休み時間、元気いっぱい遊ぶ
 - ・授業中、積極的に自分の考えなどを発表する
 - ・「わかる」「できる」を実感し、そして、友達と教え合える
 - ・それぞれの悩みを相談し合える
 - ・学校行事、係活動をはじめ、いろいろな活動において協力し合える



八女地区駅伝大会 11月9日(木) 筑後広域公園にて 駅伝大会激励会 11月8日(水)

「八女地区駅伝大会」に出場するために、後期課程生徒は、10月より保健体育の授業や土日の練習で、持久走に取り組んできました。女子は約2km(×5名)、男子は約3km(×6名)の距離を走り、たすきをつなぎます。それぞれの自己ベストを更新できるように、一生懸命頑張りました。

その原動力になったのが、前日の激励会!善遊科のリーダー(4年生)を中心として、前期課程児童全員で激励会を開きました。体育祭で披露した「よっちょれ」の軽快なリズムとかけ声で、先輩方にエールを送りました。



専門委員会(善学科)各委員会縦割り

学びづくり部		関係・環境づくり部	
学習・図書委員会	放送・計画委員会	環境・美化委員会	健康・給食委員会
9年	9年	9年	9年
8年	8年	8年	8年
8年	8年	7年	7年
7年	6年	6年	6年
6年	6年	6年	6年
6年	5年	5年	5年
5年	4年	5年	4年
4年		4年	
【担当職員】 尾上、大橋、片山 原島、伊藤	【担当職員】 鍋島、友野、大石 中村	【担当職員】 小川、鶴、堀川	【担当職員】 渋谷、坂井、坂田 坂本

